

1 クラブの育成チェック表（自己評価）について

要因	細目	評価点（平均）
多種目	各種目のスポーツを選択できる体制をとっている	4.00
多世代	多世代のニーズに応じたスポーツメニューを組んでいる	3.67
一貫指導	多世代にわたって一貫して活動できる体制をとっている	3.56
クラブハウス	クラブハウスを頻繁に利用している	4.56
自主運営	クラブを自主的に運営する体制をとっている	4.78
受益者負担	クラブを概ね会費によって運営する体制が整っている	4.44
団体調整・組織化	既存のスポーツ団体、学校等との連携・協力が図られている	4.22
経理面	自主運営するための収入がある程度計算できる	4.22
広報	クラブの情報を積極的に発信している	4.11
ネットワーク化	他クラブとの連携・交流が図られている	3.22
住民の意識	クラブの設立により住民に変化がみられた	3.11
広域化・波及効果	近隣のクラブに好影響を与えている	2.56
社会公益性	クラブの設立により地域の活性化が見られた	3.56

2 運営上の課題・悩みや将来の構想等について

(1) 人の問題

【課題】①後継者不足，②会員の減少

【原因】①1人の人が長くやりすぎており，積極的に交代するアクションを起こさなかったこと。

②・サークルによっては人気・不人気に影響。

・魅力的なプログラムがない

・他の趣味事がある，進学のための塾通い，仕事等のため，定期的な時間の余裕がない。

・クラブの運営や手伝いなどを考えると活動しにくい。

【解決策】①

②

(2) 場所の問題

【課題】工事に伴う活動場所の制限

【原因】・早いうちからの対策を打っていない。

・市内にグラウンドが少ない。

・市内公共施設との連携があまりない。

【解決策】

(3) 近隣の問題

【課題】音への苦情（バスケットボールの音やタイマーの音等）に対して近隣とどう向き合い対処していけばよいのか。

【原因】・活動場所を学校にすることに限界があるかもしれない。

・注意していても当事者にならないと何が迷惑行為になるか分からない。

【解決策】